

泉のほとり

●待降節第四十日

今月の詩篇「第五〇編」

天は神の正しいことを告げ知らせる。

神は御自ら裁きを行われる。



つまずかない人は幸い

平獄の中でキリストについて聞いた洗礼者ヨハネは自分の弟子たちを送って、「来るべき方はあなたでしょうか。それとも、別の方を待つべきでしょうか」と尋ねました。かつて洗礼を受けに来られたキリストに「私こそ、あなたから洗礼を受けるべきです」と言ったヨハネですが、人々からの言葉を耳にして、本当にこの方はキリストか」と思ったようです。

キリストは「行つて、見聞きしていることをヨハネに伝えなさい。目の見えない人が見て、足の不自由な人は歩き、皮膚病の人がぎよくなり、耳の聞こえない人が聞こえ、死んだ人が生き返り、貧しい人々に福音が宣べ伝えられている。わたしにつまずかない人は幸いである」とお答えになりました。「人々による言葉ではなく、神のことがばが実現していることを聞いて、わたしにつまずかない人になりなさい」ということだったと思います。

わたしにつまずかない人は幸い

ヨハネとヨハネの弟子たちは食べることも、飲むこともしないで祈り、イスラエルのために働いていました。福音書を見ますと、ヨハネの弟子たちだけではなく、フアリサイ派の人たちもよく断食し、祈っていたと見受けられます。それに対しイエスキリストと弟子たちは、当時の人々には、断食もしない、あまり祈っているようにも見えない、むしろ食べたり飲んだりしているというふうに見えていたようです。人々はイエスキリストに対し「見る、大食い、大酒飲みだ。徴税人と罪人たちの仲間だ」とも言っていました。「神のことがば」ではなく、「私の言葉」の上に立ってキリストを見る者はつまずきま

実際にイエスキリストは食事を楽しまれていただけだと思えます。しかし食べなくても、飲みもせず熱心に祈ることが「敬虔」、「きよき」だと見ている人たちの目には、キリストは飲み食いする人、大食い、大酒飲みに見えたのでしょうか。救い主、メシアであるはずがないと思つたのでしょうか。何よりもその自分たちの思い違いの上に立ってキリストを見ていた人たちの目には「目の見えない人が見て、耳の聞こえない人が聞く。貧しい人々に福音が宣べ伝えられている」と語り「悔い改めよ」と語られて、真の敬虔、すなわち心のきよさへと導く救い主のことがばに耳を傾けることもなかつたのです。

キリストは「徴税人と罪人たちの仲間」と言われました。しかし彼らはキリストの働きを見て、そのことがばを聞いて、近づいて来た人たちです。「悔い改めよ」と言われる厳しいキリストのことがばに正直に自分と向き合つて、なお「この方に近づいていきたい」と思う人たち。彼らの中には、食事を「飲み食いするだけ」と見下すのではなく、「私のような罪人に、隣にすぎない者にも」といって、与えられているパンを見て、涙した人たちもいたと想像します。キリストはそういう罪人たちとは近くにおられました。彼らを大いに受け入れ、彼らとは楽しく食事もされたと思えます。

「神のことがば」ではなく、「私の言葉」の上に立ってキリストを見る者はつまずきません。キリストにつまずく者ではなく、私たちが「キリストのことがば」にしたがう者として、キリストの目になやう人、神の目に「可愛い」と喜ばれる者になりたいと思うものです。

(マタイ一・一七)

祈り

天地の創り主、わたし共の支配者、そして、天にいます父なる御神、今日、わたし共の信仰の祭り、全世界の喜びの時、主イエスの降誕の主日の礼拝を迎えることができ、心から感謝いたします。

一年の間、まことに多くの出来事がありました。一人ひとりの生活を省みても、そしてこの世界において起こってきたことを振り返っても、挫折り救えて、指が足らぬほどのさまざまな出来事を数えることができます。それらの出来事を通じて、わたし共がまことにしばしば愚かな歩みを繰り返し、み言葉に背き、人を傷つけてきたことも併せて思い起こさなければなりません。そのことを御前に恥じ、心から悔悟をいたします。

人類の歩みがここまで進歩し得たかというほどの歩みをしていながら、その恩恵に浴することなく、多くの飢える人びとがあり、また、かえって技術の能力を誇ったがために人びとの命が奪われ、これまでので幸いが増えたりいたしました。平和を願う声が虚しいときえ思われるときがありました。他を顧みてその誤りを批判するいとまもなく、わたし共自身が多言多語にどれだけ慰安であったかと思ふとき、立ち尽くす思いを抱きます。

しかし、そのような中でも、あなたは愛をもち、わたしたち共を支え、望みなきところに望みを作り、愛なきところに小さな愛の火を燃やし続けてきてく

ださいました。そこでも、お互いが助け合う喜びを味わうことができました。多くの人びと、信仰のある人、信仰なき人の区別を超えて、あなたが用いる人びとの厚意によって生かされて参りました。そして、今ここにあるのであります。そのことを心から感謝いたします。すべてのことの中に、御子が生まれてくださった愛の事実が生きて働いていることに深い感謝をささげるものであります。

この町の人びと、この国の人びと、この世界の人びとに、クリスマススの祝福を与えてください。主に向かって正しく心を向ける喜びを味わわせてください。教会を顧みてくださいますように。クリスマスが来てもなお内に争いを抱え、あなたの御栄えを表すに十分な力を発揮することのできない教会を憐れみのうちに覚えてください。迫害のもとにあります教会、自分の小ささ、弱さを恥じるばかりで、何ひとつできないと思つているような教会を御心のうちに留めてください。

主イエスを愛する熱情と、主イエスに仕えるひたすらな思いとが、すべてのキリスト者を生かし、教会を生かしますように。クリスマススの平和の歌を自分たちの生活の中ではっきりと歌えるキリスト者を作ってください。今、その歌声のひとつとしてここに歌うわたし共の歌を、あなたの栄光を心からほめたたえるものとして受け入れてくださいますように。そして、そこから溢れ出るような平安をもってこの場所を満たし、一人ひとりの心を満たしてくださいように。

(加藤常昭「み前にそそぐ祈り」より)

今日のお知らせ

○今日はクリスマス礼拝です。礼拝の中で、洗礼式と転入会式を行います。
受洗者

平 澤貴美子 教友 吉田晴子
徳田裕史 教友 楠治介
生澤和義 教友 井手英列史
転入会

新 井哲夫 吉祥寺キリスト教会より
松村長貴 平和キリスト教会より
鄭智允 平和キリスト教会より
(幼児洗礼を受けている子供たちも一緒に
転入します)

○一二時からホールで、クリスマススを祝い、新たに群れに加えられた方々を歓迎する会を行います。

○その後愛餐会で、昼食を一緒にします。今日のメニューは、チキン南蛮、クリスマスサラダ、キャロットライス、スーブ、デザートです。大人五百円、幼稚園児以下の子供三百円です。

○次週一二月三一日と、その翌週の一月七日の礼拝も、朝一〇時からの一回礼拝です。

○事務所は二七日まで出勤し、翌二八日から一月八日まで、年末年始の休みに入ります。

○紫園音楽伝道師は、本日、藤代聖書教会で、クリスマスコンサート礼拝の奉仕をします。お祈りください。

ケニアだより

約束の地、起工式

コイノニア教育センターは創立一五周年を迎えます。創立当時から自らの土地と建物を持ち、地域に奉仕する教育事業を継続できることを祈り求めてきました。

昨年、多くの方々の助けによつて、念願の土地を首都ナイロビから七〇キロ離れたマイ・マヒウに一〇エーカー一五三六〇坪の土地を購入することができました。

そして今は建設のための資金集めをしています。

建物を建てるほうが、土地を買うよりはるかに高額ですから、歩みはゆっくりです。

しかし、与えられた資金で少しずつでも建て始めることを決め、まず建築現場の事務所、管理人の宿舍、トイレ、倉庫を作りました。これは一時的な建物です。そして、丸太と鉄線で敷地を囲みました。いよいよ、恒久的な施設を作り始める前に、この土地を神様に捧げ、感謝の礼拝をする事にしました。一月八日コイノニアで働き教師、スタッフ、キユーナ教会のメンバー、生徒代表、村長、隣の土地の持ち主、これらから資材を供給してくれる業者な

ど、六〇名が集まって、起工式を行いました。礼拝の後、代表たちが小学校を建てる場所に鉄を入れました。そして交わりの時を持ちました。

(つづく)



今日のスケジュール

今日は朝のクリスマス礼拝と共に夕方二回のクリスマスイブ礼拝を行います。そのために、一日の日程が普段と変わります。

九時四〇分 教会学校讃美開始

一〇時 クリスマス礼拝

（礼拝後、愛餐会準備、礼拝堂設営など）

一二時 ホールでクリスマス祝会

（一三時一〇分終了予定、

その後お洗い、ホール設営など）

一四時 イブ礼拝全体祈禱会

一五時 受付設置終了

一五時半 受付開始

一六時 第一イブ礼拝の入室開始

一六時半 第一イブ礼拝開始

一七時四〇分 礼拝終了予定

一八時一〇分 第二イブ礼拝の入室開始

一八時半 第二イブ礼拝開始

一九時四〇分 礼拝終了予定

二一時 片付け終了

次週礼拝

●年末礼拝（午前一〇時）

讃美歌 106番 112番

説教 「星に導かれて」

聖書 マタイ2章1節〜12節

説教者 黄允泥 副牧師





クリスマス礼拝 (午前10時)

讃美歌 106番

112番

説教 「アブラハムの子、ダビデの子」

聖書 マタイ1章1節～17節 (新約P1)

司式者 黄允湜 副牧師

説教者 聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「甘き喜びのうちに」L.スミス

○讃美歌106番

1. あら野のはてに 夕日は落ちて
たえなるしらべ 天よりひびく

※ グローリヤ イン エクセルシス デオ
グローリヤ イン エクセルシス デオ

2. ひつじを守る 野へのまきびと
天なる歌を 喜びききぬ

※ くりかえし

3. み歌をききて 羊飼いらは
まぶねにふせる み子をおがみぬ

※ くりかえし

4. 今日しも御子は うまれたまいぬ
よるずの民よ いさみて歌え

※ くりかえし アーメン

○ソプラノによる讃美

「さやかにほしはきらめき」

○聖歌隊による讃美

「神のみ子は」 B.ルン

グローリア インエクセルシス デオ!

グローリア インエクセルシス デオ!

神のみ子は こよいしも

ベツレヘムに 生まれたもう

いざや友よ もろともに

急ぎゆきて 拝まずや

急ぎゆきて 拝まずや

とこしなえのみことばは 今ぞ人となりたもう

待ち望し主の民よ 急ぎゆきて 拝まずや

アーメン!

○讃美歌 112番

1. もろびとごぞりて むかえまつれ
久しく待ちにし 主は来ませり
主は来ませり 主は 主は来ませり

2. 悪魔のひとやを うちくだきて
とりこをはなつと 主は来ませり
主は来ませり 主は 主は来ませり

3. この世の闇路を 照らしたもう
たえなる光の 主は来ませり
主は来ませり 主は 主は来ませり

4. しぼめる心の 花を咲かせ
めぐみの露おく 主は来ませり
主は来ませり 主は 主は来ませり

5. 平和のきみなる み子をむかえ
救いの主とぞ ほめたたえよ
ほめたたえよ ほめ ほめたたえよ アーメン

聖餐曲「お生まれだイエス様が 他」 H.A.スガ

後奏曲「ヘンデルの「LIFT UP YOUR HEADS」
によるマーチ」 A.ギムツ

※ 礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎回お持ちください。